

学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
12月の2



幼児と音楽

11月29日(月)音楽活動をされている4名の方が来園され、園児に音楽をプレゼントしていただきました。グループの名前は、

くまさん'S(くまさんず)です。ドレミのうた、もみじ、赤鼻のトナカイ、さんぼ等、全部で10曲演奏してもらいました。園児は、曲想に合わせて身体を左右に揺らしたり首を上げ下げしたりするなど、曲の中に入り込んでいました。また、フルート、クラリネット、4種類のハーモニカ、キーボード、バイオリン、チェロの楽器紹介もありました。約40分間でしたが、園児にとって楽しい時間になりました。音楽を聞いたり歌を歌ったりすると、身体がなぜ自然と動くのでしょうか？音楽は幼児にとってどのような効果や影響があるのでしょうか・・・？
※子ども音楽ニュースより抜粋



1 音の刺激で脳の発達を促す

人間の脳は、外部からの様々な刺激によって発達します。特に聴覚で得た情報が伝達しやすく、耳で聞いたものは脳に大きな影響を与えているとされています。

(例：赤ちゃんがお腹にいる時に、クラシック音楽を聴く、胎教。泣いている赤ちゃんに音楽を聞かせた途端に静かになった・・・)このように、言葉が通じない赤ちゃんの脳にも影響をもたらします。

2 ストレスを解消し、精神を安定させる

特に歌を歌い、声を出すことは大きなストレス解消に繋がります。なぜ、歌うことでストレス発散になるのかというと、大きく息を吸い、声を出すことで精神が整い、気持ちがリラックスするからです。

3 歌詞を覚えることで言語能力、記憶力が向上する

歌詞を覚えることで記憶力が向上するとともに、歌詞に登場する単語を覚えたり、どういう意味かを知ったりすることで、言語能力が発達します。

4 想像力が向上する

歌詞の情景をイメージすることで、子どもの創造力は高まります。また、歌遊びで歌の登場人物の気持ちに寄り添うことで想像力が大きく育ちます。

5 体力が身につく

呼吸の方法には、胸を膨らますようにする「胸式呼吸」と、お腹を膨らませるようにする「腹式呼吸」の2種類があります。歌を歌う際は、腹式呼吸を使いますが、体力を消耗します。そのため、歌を歌うことで、体力が鍛えられます。また、簡単なダンスを取り入れることで、バランス感覚などの運動能力も鍛えられます。

6 協調性が身につく

みんなで歌うとき、周りのお友だちに歌声を合わせる協調性がないと、きれいにまとまりません。歌声を合わせることを通して、クラスの仲間づくりに成果をあげます。
※幼児期の今こそ、みんなで声を合わせながらたくさんの歌を歌ってほしいと願っています。



農都のめぐみ米

今月20日(月)より、今まで給食時に提供されていたお米が「農都のめぐみ米」に変わります。化学肥料や農薬の使用を兵庫県の基準の二分の一以下に抑え、オタマジャクシの成長を待って中干しを遅らせるなど、生き物に配慮して作られたお米です。稲わらの秋のすき込み、完熟たい肥等を使った良質な土づくり、農薬、化学肥料の使用量の

抑制、中干しの開始時期を延期させることによるカエルやトンボなどの生き物の暮らしの安全確保等々、人や環境に優しいお米です。過去に一度提供されましたが、甘くて大変美味しいお米でした。今後は「農都のめぐみ米」が学校給食用のお米として提供されることに感謝します。どんなお米なのかを子どもたちに説明していきます。尚、米粉パンの米粉も、今後切り替えていく予定とお聞きしています。



「新聞、おもしろいなあ。」

「情報社会に生きる私たち」

という単元で、5年生では身近な新聞(丹波、神戸、毎日、読売、朝日の各新聞)について1面を比較しながら、どのような情報が記載されているのか、見出しの付け方、構成の仕方、作り手の願いなどを学習しました。1面には、一番伝えたいことが載っていることや、どの新聞にも天気、編集者の感想(まとめ)、ミニまんが、クイズ、運勢などがあること、また、大きい見出しが右側に載っている新聞と左側にある新聞があることにも気づきました。新聞によって読者に読んでほしい内容や伝え方の違いがあることが分かりました。学習中に「新聞って面白いなあ。」とつぶやく児童もいました。最後に学習の様子を参観していただいた丹波新聞社の森田記者から、「新聞にはすべて地元のことや地元にお住まいされている人を掲載している。地元の人に読んでいただけて楽しいと感じてもらえるような新聞をめざしている。記事が身近に感じてもらえればうれしい。」という言葉いただきました。今後は、新聞はどうやって作られているのか、情報の扱い方、放送局の働き、情報産業などについて学習を進めていきます。



1年研究授業

3日(金曜日)5校時、1年生算数科「もののいち」の授業を市教育委員会から

指導主事をお二人招聘し、全教師が参観しました。放課後の研修会では、自分の考えや思っていることが友達とちがっているとき、それが言えるクラスであったこと、担任は正解を急いで求めない姿勢があったこと、どんな意見でも吸い上げようとしていたこと、間違っている間違っていても様々な意見が出ていたこと、学び合う集団作りができていていること、普段の授業づくりやクラスづくりの成果が出ていることなど、指導主事からの発言がありました。私たちは、互いに自分の考えを表現し伝え合ったり、学び合ったり、その結果高め合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れていき、授業力の向上をめざしていきます。次回の研究授業は4年生です。